

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

薩摩パッシブデザイン住宅

グループの名称

鹿児島自立循環型住宅研究会

直近採択グループ番号

06-0374-0790

(グループ代表者)

代表者名

桑木 喜康

代表者印

代表者所属先

丸久建設株式会社

代表者所在地

鹿児島県鹿児島市永吉1丁目34-20

代表者電話番号

099-254-6225

(グループ事務局)

事務局事業者名

丸久建設株式会社

事務局担当者名

野付 健

印

事務局郵便番号

899-0202

事務局所在地

鹿児島県出水市昭和町12-21

事務局電話番号

0996-63-0618

事務局FAX

0996-63-7520

事務局担当者E-mail

notsuki@marukyu-kou.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		30棟				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		30棟				
					3000㎡				
					3000㎡				
確実に実施可能な申請者の申請順に分配する。									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 薩摩パッシブデザイン住宅	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 鹿児島自立循環型住宅研究会	(結成年) 2014 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0374-0790	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	省エネ等級4以上を確保する。 等級2相当を確保する	耐震 ◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	基礎はコンクリートベタ基礎で基礎立上り400mm以上を確保する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	屋根は台風を考慮した形状とする。 の軒の出を考慮し、庇などで対応する。	南面 ◎
④①～③の背景	気候は日差しが強く温暖・多雨・多湿で台風の常襲地帯であり、またシロアリの被害が多い地域でもある。また、多くの離島を抱え県土面積の60%の森林面積を有し良質な杉・桧の人工林を多く保有している地域である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	鹿児島県の気候を考慮し、各工務店独自、或いはグループ内設計事務所の協力で、温熱性能シミュレーション、性能検討を行う。 Q値2.4以下、η値0.04以下、耐震等級2相当とする。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループとして内装材の一部に地域材利用を検討し木材量を増やす検討をする。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループとして内装材の一部に地域材利用を検討し木材量を増やす検討をする。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループとして内装材の一部に地域材利用を検討し木材量を増やす検討をする。	○
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内で共通資材の共通仕入れについて資材の選定等を協議しコストの削減を図る。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内で共通資材の共通仕入れについて資材の選定等を協議しコストの削減を図る。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 施工グループを中心に協議しコストの削減を図る。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ各社よりヒアリング情報の収集に努める。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工グループを中心に施工基準の整備を行う。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工グループを中心に検査ルールを明確化し、ルールに基づき検査を行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 見積書提出時に重要事項説明書を添付し施主に説明する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 現場見学会を開催し実際の建物を見てもらい、色々な疑問点の解消を図る。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ各社は週休2日制を実現するために業務の効率化を図る。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 長期優良住宅・ZEH基準の住宅を標準化していくことにより、業務の効率化を図る。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ各社は社会保険に加入する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ各社は労働基準法にしたがって、社業所での安全を確保し、職員の健康管理に努める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 薩摩パッシブデザイン住宅	(地域型住宅供給対象地域) 九州	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 鹿児島自立循環型住宅研究会	(結成年) 2014 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0374-0790		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報のメンテナンステキニク		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅情報クラウドサービス(HPC)を活用し履歴の蓄積を行う	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅情報クラウドサービス(HPC)を活用し履歴の蓄積を行う	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: クラウドサービスになるので発行されたID・PASSにて管理を行う	◎
	② メンテナンス基準		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検予定日、内容を定めたものにて実施する。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修共通ルールを作成し実施する。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外部の検査会社によるダブルチェックにより補修漏れがないように実施する。	◎
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工グループ内、長期優良の経験メンバーを中心に勉強会を実施する。	◎
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工グループ内、長期優良の経験メンバーを中心に勉強会を実施する。	○	
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンバー中心に、確定申告やその他、住まいに関する保険などの勉強会を実施する。	◎	
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会を設置し、長期優良住宅仕様を参考に実施する。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険が継続して加入できる体制づくりとメンテナンス体制を構築する。	◎	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検・メンテナンスを引受ける施工会社をグループ内で選定して紹介できる体制づくりを実施する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会にて瑕疵内容、クレーム内容の情報を共有し学ぶ勉強会を実施する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工グループ内、長期優良の経験メンバーを中心として、実際の施工現場での勉強会実施	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工基準書を作成し品質管理に勤める。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者検査会社によるダブルチェックを行う。	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ間での協力支援体制を確立し計画的に技術力アップに繋げる。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ間での協力支援体制を確立し計画的に技術力アップに繋げる。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各グループ構成員、業者別の会議を開き、問題点の把握、解決強化を図る。	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 17 今年度の参加目標人数 0
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 0	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社1名は義務付け	
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 検査機関やメーカーに指導を仰ぎグループ各自のアイデアを構築、技術アップ勉強会実施	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会への参加を義務化して、参加者へは講習終了証を発行する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 薩摩パッシブデザイン住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 九州
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 鹿児島自立循環型住宅研究会	<small>(結成年)</small> 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0374-0790	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
鹿児島の気候を考慮し各工務店独自或いはグループ内設計事務所の協力で温室シミュレーション性能検討を行う。O値2.4以下、耐震特急2相当とする。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。